

宇宙産業部品に本格参入

イノウエ

欧州大手製品、国内で販売

ステンレス・高合金流通のイノウエ（本社・東京都千代田区、社長・井上浩樹氏）は宇宙産業用部品事業に本格参入する。ロケットや人工衛星部品を製造する欧州大手メーカーであるビヨンド・グラビティのオーストリア子会社を通じて製品を仕入れ、国内の宇宙産業向けに販売する。これまで高機能素材を供給してきた豊富な実績と、独自のエンジニアリング機能を武器に、素材だけでなく部品レ

ベルまで宇宙事業の範囲を広げる。

同社は昨年、航空宇宙産業用製品の品質管理に関する国際認証「AS9120B」を取得し、航空宇宙向けの拡販を進めている。5月27～29日に東京ビッグサイトで開かれた国際宇宙ビジネス展ではビヨンド・グラビティ・オーストリアの展示ブースで、イノウエも拡販活動を支援。ロケットや人工衛星のほぼすべての部品を手掛ける同社の製品ライン

アップの広さなどをアピールした。

これまでイノウエは同社製品であるアルミ・ポリエチレン積層断熱シートの販売実績はあったが、他の同社製品は扱っていなかった。

井上社長は「断熱シートの拡販で信頼を得て、この度当社の取り扱い製品を広げられることになった。国内宇宙産業に向けて拡販していきたい」と意気込む。

